

実証事例（レンコン サービス事業体への作業のアウトソーシング等による増収・増益）

経営概要(令和3年度)

- ・ 労働力構成： 家族4名
常時雇用5名
- ・ 経営面積： 16ha レンコン専作
- ・ 実証面積： 16ha

実証内容（目標）

- ・ ドローン防除委託
 - ・ 水位センサー
 - ・ 直進アシストトラクタ
 - ・ GPS車速連動肥料散布機
 - ・ 営農管理システム
- ・ 収穫作業を除く圃場管理に係る作業時間20%削減
 - ・ 単収10%向上

成果

- ドローン防除作業のアウトソーシングや水位センサーの導入により、管理作業を効率化。これにより、生育・病害の確認や早期の土壌消毒など、適期作業に時間を割くことが可能に。R3年度は、台風などの影響により県全体で14%減収（県平均単収：R1年932kg→R3年803kg）となる中、実証経営では平年並みの単収を確保。
- 全国的な不作で単価が上昇した中、単収を維持したことで販売収入は増加し、ドローン防除の委託料や機械費を差し引いても利益が増加。

考察

- 作業繁忙期におけるサービス事業体への作業のアウトソーシングは、技術導入コストの削減に加え、浮いた労働時間を適期・適切な栽培管理・収穫にシフトさせることを可能とし、増収・増益効果をもたらす。
- 現在、本地域では、実証経営体以外でも、ドローン防除委託の利用面積を増大させており、サービス事業のさらなる活用が期待。

10a当たり経営収支（千円）

区分	慣行区（R1年）	実証区（R3年）
収入合計	622	628
販売収入	617	625
（単収）	1,086kg	1,027kg
（参考）県平均単収	(932kg)	(803kg)
（単価）	568円/kg	609円/kg
その他収入	5	3
経費合計	484	482
肥料費	28	27
農薬費	13	14
賃借料	38	50（うちドローン防除委託料3,150円/10a）
機械・施設費	55	61
労働費	194	187
（10a当たり労働時間）	129時間	124時間
流通経費	122	111
その他費用	34	32
利益	138	146

10a当たり作業時間内訳（時間）

作業名	慣行区	実証区
耕耘・定植	8.3	8.3
防除	2.0	0.7
管理作業	8.7	5.9
収穫	90.1	90.1
出荷調製・その他	20.3	19.4
合計	129.4	124.4